

# ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年11月1日時点)

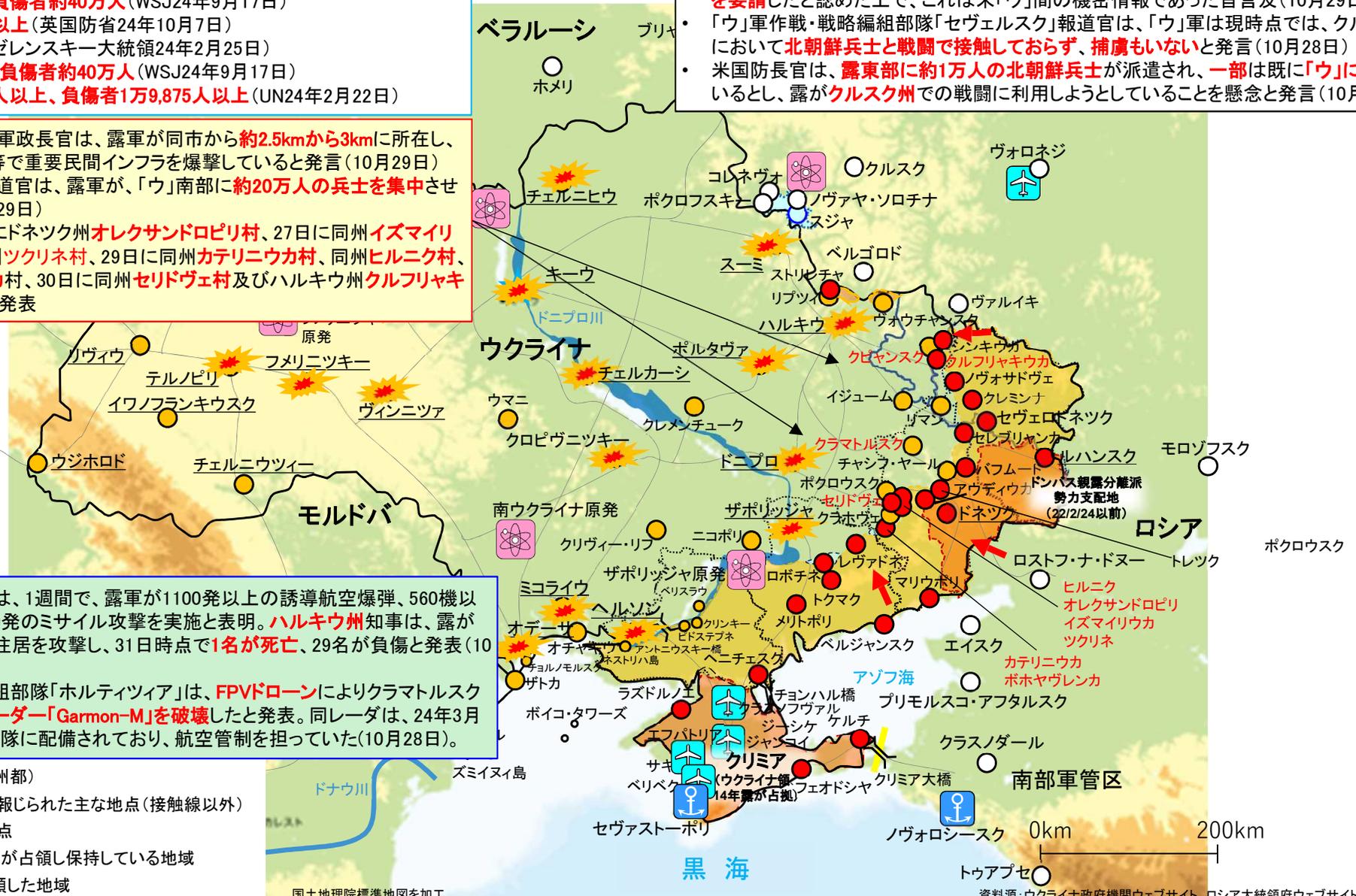
## ▶ ウクライナ軍が露西部クルスク州への越境攻撃を実施する一方、露軍は、同攻撃に対応しつつも、ウクライナ東部への攻勢及びウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続している模様

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

- 露軍: 死者約18万人(ゼレンスキー大統領24年2月25日)  
: 死者約20万人、負傷者約40万人(WSJ24年9月17日)  
: 死傷者64.8万人以上(英国防省24年10月7日)
- 「ウ」軍: 死者3.1万人(ゼレンスキー大統領24年2月25日)  
: 死者約8万人、負傷者約40万人(WSJ24年9月17日)
- 「ウ」市民: 死者10,582人以上、負傷者1万9,875人以上(UN24年2月22日)

- 「ウ」クピャンスク市軍政長官は、露軍が同市から約2.5kmから3kmに所在し、1.5t級の誘導爆弾等で重要民間インフラを爆撃していると発言(10月29日)
- 「ウ」南部防衛軍報道官は、露軍が、「ウ」南部に約20万人の兵士を集中させていると発表(10月29日)
- 露国防省は、26日にドネツク州オレクサンドロピリ村、27日に同州イズマイリウカ村、28日に同州ツクリネ村、29日に同州カテリニウカ村、同州ボホヤヴレンカ村、30日に同州セリドヴェ村及びハルキウ州クルフリャキウカ村を解放したと発表

- 米メディアは、ゼレンスキー大統領が、最大射程2,500kmの米巡航ミサイル「トマホーク」の供与を要請した旨報道。同大統領は、「勝利計画」で「トマホーク」等の長射程兵器の供与を要請したと認めた上で、これは米「ウ」間の機密情報であった旨言及(10月29日、30日)
- 「ウ」軍作戦・戦略編組部隊「セヴェルスク」報道官は、「ウ」軍は現時点では、クルスク州において北朝鮮兵士と戦闘で接触しておらず、捕虜もいないと発言(10月28日)
- 米国防長官は、露東部に約1万人の北朝鮮兵士が派遣され、一部は既に「ウ」に接近しているとし、露がクルスク州での戦闘に利用しようとしていることを懸念と発言(10月30日)



- ゼレンスキー大統領は、1週間で、露軍が1100発以上の誘導航空爆弾、560機以上の無人機及び約20発のミサイル攻撃を実施と表明。ハルキウ州知事は、露が誘導航空爆弾により住居を攻撃し、31日時点で1名が死亡、29名が負傷と発表(10月27日、31日)
- 「ウ」軍戦略・作戦編組部隊「ホルティツィア」は、FPVドローンによりクラマトルスク方面で、露の最新レーダー「Garmon-M」を破壊したと発表。同レーダは、24年3月に露中央軍官区の部隊に配備されており、航空管制を担っていた(10月28日)。